

部門間連携や設計効率に悩むすべてものづくり企業へ! ※BOM=Bill Of Materials

BOMで流用化・標準化設計の実現と企業価値を高めるコツ

～設計部門の働き方改革をめざして～

日時 2019年 **12月6日(金)** 13:00~17:00
(12:30 受付開始)

主催 日刊工業新聞社

1名 **33,000円**

会場 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム
東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

受講料 1口 (3名まで受講可) **66,000円**
(いずれも資料代含む。税込)

※講師著書「中小企業だからこそできる BOMで会社の利益体質を改善しよう!」(日刊工業新聞社 刊)を無料進呈いたします
※本セミナーの性質上、同業他社のご参加はお断りさせていただく場合があります。予めご了承ください。



日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
㈱日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

●申込先 日刊工業新聞社 総合事務局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

受講
申込書

12/6 BOM

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

■受講料：1名 33,000円 1口 (3名まで受講可) 66,000円 (いずれも資料含む、消費税込) ※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考	※申込種別(いずれかを○で囲んでください) 1名・1口		

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

No.190343

開催にあたり

原価の8割が設計段階で決まります。さらに短納期にこたえてグローバル競争に勝ち抜く為には標準化を推進して「いつでも、どこでも、誰とでも、どんなものでも」作れることが求められます。そのために核と成るのがBOMです。

BOMの構築と効果的な運用の為には上流から下流に至るまでの部門間の連携が不可欠です。しかし、各部門のセクショナリズムが強く円滑な連携が取れないままとなり、更に、設計部門の働き方改革にも対応を迫られ、具体的にどう進めて行くかと言う部分で行き詰っている企業が大変多いように感じています。

本セミナーではBOM構築のためのノウハウや、部門の壁を乗り越えられる「一気通貫力」のある人材の育成、「真の一気通貫」、「設計部門の働き方改革」について具体的な実例を交えながら解説いたします。

特に「標準化を進めたいが何処から始めたらいいのかわからない」「BOM構築が社内で統一化できていない」「設計部門と製造部門の連携がうまく取れていない」「設計部門の働き改革の具体的なイメージが考えられない」など、お悩みの企業様におススメのセミナーです。

【受講対象者】

- 経営者を含む経営層・工場管理者
- 設計・技術・製造・品質の管理者・部門長・現場責任者

※本セミナーの性質上、同業他社のご参加はお断りさせていただく場合があります。予めご了承ください。

講師

株式会社 大塚商会 本部SI統括部 製造SP統括 コンサルタント 谷口 潤 氏

【略歴】 1976年、芝浦工業大学卒業。開発設計会社に入社し、設計開発部長、企画・運営部部長などを経て米国設計・生産現地法人の経営、海外企業とのプロジェクト運営、新規事業開拓に携わる。その後、ドイツ・米国計通信機器関連企業の日本現地法人の代表取締役社長に就任。2006年より現業に至る。

プログラム

- **上流側・下流側の間に存在する「壁」を認識する**
 - ・ 設計部門・製造部門それぞれの立場から見た理想と現実のギャップ
- **5Sから始まる流用化・標準化設計**
 - ・ 上流側改革の必要性と考え方
 - ・ 設計部門における5Sとは
 - ・ 5S・カイゼンで終わらせない、その続きとは
 - ・ 設計者のモチベーションプランニング
- **BOMの構築について**
 - ・ 部品表とBOMの違い
 - ・ シングルE-BOM・マルチM-BOM
 - ・ 全方位受注と自社M-BOM
- **真のチームワーク・ものづくりを目指す**
 - ・ 「壁」を取り払うための改善テーマ
 - ・ 部門間ジョブローテーションと人材育成
 - ・ グローバル化への対応や次世代人材育成に向けて
 - ・ 一気通貫による設計情報の整流化
- **設計部門の働き改革を実現させる**
 - ・ 設計部門に有効な働き方改革とは？
 - ・ 流用化・標準化設計プラットフォームが必須
 - ・ 働き方改革の具体的なイメージ